

「可能性のトビラを開く」

第5次犬山市総合計画は、計画期間12年の中間地点を迎えました。計画が策定された時点から現在までの間に、人口減少、高齢化など、社会情勢の変化に伴う影響が、犬山市でも様々な課題となって現れています。

しかしながら、

「社会が変化する時こそチャンス」
です。



犬山市長 山田拓郎

ましてや、地域資源が豊富で地勢に恵まれた犬山は、大きな可能性を秘めています。

このチャンスを活かすためにも、犬山の特徴を踏まえ、計画期間の後半では、活躍の場づくり「学びと遊びのまちへ」、産業の活性化「商売繁盛のまちへ」、定住促進「多様な暮らしができるまちへ」の3つに重点を置き、民がもっと力を発揮できるよう「可能性の扉を開く」という視点で、総合計画の強化見直しを行いました。

可能性の扉を開いたら、扉の先の景色を眺めて終わりではありません。そこに広がる世界へ足を踏み出し、夢や希望の実現に向かって、みんなで力を合わせていくことが大事です。

ここに可能性の^{トビラ}扉が開かれました。
そして前進へ！！

平成29年3月

目 次

市長あいさつ

1 序 論

- 1 計画の概要…………… 7
- 2 第5次犬山市総合計画中間見直しについて…………… 9
- 3 まちづくりの主要課題について…………… 10

2 基本構想

- 1 まちづくりの考え方…………… 16
- 2 まちの将来像…………… 17
- 3 まちづくり宣言…………… 24
- 4 まちづくりの達成指標…………… 26

3 基本計画

- 1 基本フレーム…………… 28
- 2 施策の全体像…………… 32
- 3 重点施策…………… 34
- 4 まちづくり宣言別の取組方針…………… 37
- 5 まちづくり宣言別計画（個別施策）…………… 42

参考資料

- 1 犬山市のすがた…………… 206
- 2 犬山市総合計画の推移と概要…………… 208
- 3 策定体制…………… 209
- 4 策定経過…………… 216
- 5 市民参画…………… 217
- 6 関連計画等一覧…………… 226
- 7 用語解説…………… 227

